政務レポート
りれーしょん
2013年11月25日
鳥取県議会議員
砂場隆浩
鳥取市片原1-107
「Relation」とは1605年、ストラスブールでヨハン・カロルスが世界で初めて創刊した新聞です。直訳すれば「関係」。つまり、架け橋という意味があります。

# 発言力強い交渉会派に復帰

# 会派希望（のぞみ）始動

## 政調会長に再任、政策立案担う

私と森岡俊夫、国岡智志の３県議は所属会派「かけはし」を10月11日に解散し、同日、横山隆義、伊藤美都夫の両県議が会派自民党を離脱して結成した会派希望（のぞみ）に加わりました。会派希望は所属議員５人の交渉会派となり、議会内の強い発言力を確保できましたので、今以上に議会改革を進め、しっかりと県政をチェックし、独創的な政策提言をして参ります。

国岡さん、森岡さん、私、横山さん、伊藤さん＝左から

旧かけはしの３人は期数も年齢も若く、ベテランのお二人と行動を共にすることで様々ご指導頂けると、会派希望への加入を決めましたが、私には、お二人への深い信頼がありました。

伊藤さんが議長当時、座長を務められた議会改革推進会議で私は委員として、議会基本条例や倫理条例の制定に参画しましたが、採決することなく議論を尽くして成案を得る伊藤さんに強く共感していました。その結果もあって、早稲田大と日経グローカル誌に議会改革度全国２位の議会と極めて評価されました。

横山さんは皆様ご存知の通り、由良育英高の駅伝監督として全国に名を馳せました。同じ常任委員会、特別委員会の所属でしたが、裏表のない実直な方です。

横山さんが広報委員長、私が編集長とコンビを組んで「議会だより」を創刊しましたが、「責任は俺、実務は君に任す」と影に日向に庇っていただきました。

旧かけはしは長谷川稔県議の離脱で交渉会派から転落。同じ日に共通テーマで一般質問するなど努力を重ねてきましたが、悲哀も感じていました。その分も含め、頑張って参ります。

## 会長に横山隆義さん

### 幹事長に森岡さん、総務会長国岡さん

会派役員は会長に横山さん、幹事長に森岡さん、政調会長に私、総務会長に国岡さんという布陣になりました。

会派の新役員
会　長　横山　隆義
幹事長　森岡　俊夫
政調会長　砂場　隆浩
総務会長　国岡　智志
議会運営委員
森岡俊夫・国岡智志
議会改革推進会議委員
砂場隆浩・国岡智志

伊藤さんは「70歳を超え、議長も経験した者の役目は若者を育てること。私は萬相談役でいいのです」と言われ、顧問を含め、一切の会派の役員を固辞されました。

会派から出す委員も、「若い人ほど重い役を担って経験を積むべきです」という伊藤さん、横山さんの強い思いを反映し、上の表のように決めました。